

＜就任挨拶：クラブ奉仕委員会：小澤盛明委員長＞

本年度、クラブ奉仕委員長を仰せつかりました小澤です。



- | | |
|-----------------|--------|
| クラブ奉仕委員会、 | 大川委員長 |
| プログラム委員会 | 野村委員長 |
| 出席・親睦活動委員会 | 小林弘委員長 |
| ニコニコ委員会 | 淵上委員長 |
| 会報・雑誌・広報委員会 | 高橋進委員長 |
| 会員増強委員会 | 鈴木委員長 |
| ロータリー情報・職業分類委員会 | |

の6小委員会からなりたっております。クラブ奉仕委員には、各委員長さんが配属されており、各々重責を担っており どの委員会が欠けても潤滑なクラブ運営が成り立たなくなります。

私の役割は。各委員会が、潤滑に運営できるように各委員会の活動計画を元に、各委員長さんと共に協力し合い活動を活発化させることと思っております。そのためには、時々 小ミーティング等を開き親睦を図りながらクラブ奉仕運営に努めたいと思いますので、各委員長さん及び会員皆様のご協力をよろしく願います。

😊 ＜ニコニコ委員会：小林 弘委員長＞

◎お誕生日

齋藤和實：

誕生日のお祝有難うございます。22日で73才になります、健康に留意して頑張りたいと思います。



■奉仕の理想 (Ideal of Service) ■

己に天職という使命を与えてくれた社会、また己の職業を生かし続けさせてもらっている社会に感謝するとき、その仕え方(奉仕)の基本として個人生活、社会生活、職業生活に於いて利己的欲求は最小限にとどめ、常に最大利他の究極を求め続けて行こうとするロータリーの奉仕哲学である。

社会奉仕基金 5,354円

《会報編集委員》高橋 修・織田証・大川隆永・淵上啓太

国際ロータリー第2790地区第12分区

松戸北ロータリークラブ



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

第1973回 例会 2013年7月9日(火)

- | | | | |
|----------------|-----------|-----------|---------------------------------------|
| ■国際ロータリー会長 | ロンD. パートン | ■例会日 | 毎週火曜日12:30より (第1例会18:30) |
| ■第2790地区ガバナー | 関口 徳雄 | ■例会場 | 松戸市八ヶ崎1-10-6 「びわ亭」 |
| ■第12分区ガバナー補佐 | 渡辺 敏弘 | ■事務所 | 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイム101 |
| ■松戸北ロータリークラブ会長 | 児山 守治 | ■TEL/FAX | 047-711-5950 / 047-711-5910 |
| ■松戸北ロータリークラブ幹事 | 平田 洋一 | ■Web/Mail | www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp |

WEEKLY REPORT

<第1973回:例会プログラム>

12:30	点鐘	児山会長
	ロータリーソング(我等の生業)斉唱	
	お客様紹介	崎谷会長エレクト
	会食	
	例会再開	
12:50	会長挨拶・報告	児山会長
12:55	幹事報告	平田幹事
13:00	ガバナー補佐挨拶	渡辺ガバナー補佐
13:05	【委員長就任挨拶】	
	クラブ奉仕委員会	小澤委員長
13:10	【外部卓話】	平 彰夫様
	13:25【委員会報告】	
	社会奉仕委員会 社会奉仕基金発表	高崎委員長
	ニコニコ委員会 ニコニコ発表	小林弘委員長
13:30	点鐘	児山会長



<会長挨拶：児山守治会長>

皆さんこんにちは ようやく梅雨が明けましたら
すごい猛暑がやってまいりました。どうぞお身体ご自
愛下さい。



☆ 委嘱状が届いております。

ガバナー補佐 渡辺敏弘 殿
職業奉仕委員 鈴木悦朗 殿

☆ 8月から各委員会セミナーが開催されます。クラブ代表として他クラブの委
員の方々と切磋琢磨してセミナーを盛り上げていただきたいと思ひます。
出席のご協力を宜しくお願ひします。
入会予定者の大川高明様 本日限りで理事会の承認に移行しますので宜しく
お願ひいたします。

小金中学校の校長先生と教頭先生がロボカップ世界大会の寄付のお礼と結果
報告に7月23日にお見えになります。

本日は外部からの卓話もありますので会長挨拶は短くして、このくらいで終
わりといたします。



■ロータリーの奉仕哲学「超我の奉仕」Service above self■

このServiceの意味は人のためにつくすこと。ビジネスでもServiceの心がけはシェルドンの言葉を借り
れば「永続的な顧客を得る道」であり、信用を増して繁栄への道につながる。

WEEKLY REPORT

<幹事報告：平田洋一幹事>

「超我の奉仕」の証明者が今回は幹事印になっていますのでよろし
くお願ひいたします。
松戸市制施行70周年 高額寄付者感謝状贈呈式に小林弘会員が
写真に写っていますので回覧しました。



<卓話:公益財団法人 海外子女教育振興財団 平 彰夫 様>

—「我が国の帰国子女教育」—

本日の演題は、「我が国の帰国子女教育」です。特に、
渡航時の学校選択と帰国時の受け入れ様態に焦点を当てて
お話し致します。

まず、渡航時の学校選択についてお話し致します。

現在、父親の海外赴任に帯同し海外で学んでいる子ども
達は約7万人おります。これらの子ども達が就学できる学
校として、小中学校段階では海外に約90校ある「日本人
学校」の他に「現地校」や「インターナショナルスクール」があります。

また、高校段階では、アメリカの慶応ニューヨーク学院、アジアの早稲田
渋谷シンガポール校や上海日本人学校高等部、イギリスの英国立教学院など9校
です。

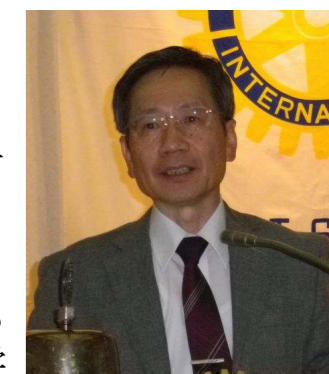
なお、幼稚園段階では、日本人学校に付属している幼稚部や日本人が多く住
む地域に日本語で保育する「日本人幼稚園」が一部のありますが、殆どの幼児
は現地の幼稚園やインターナショナルスクールの幼稚部に入園することになり
ます。

次に、帰国時の学校選択についてお話し致します。

基本的に義務教育段階での帰国の場合には海外での学校種や学年に関係なく
年齢相当の学年に編入学することになります。

また、帰国子女受け入れ体制の基本として、小学校段階では海外で十分に身
に付けることができなかつた日本語のサポート、中学校や高校段階では入試科
目等で一定の配慮を行うと共に入学後には海外で身に付けてきた英語力を更に
伸長させるサポートを行っています。なお、大学入試段階では、センター試験
を免除したり海外の学校で取得した資格や成績だけで入学を許可するなどの配
慮を行っています。

詳しくは、本日配布させて頂きました資料をご参照下さい。



■米山梅吉 (UMEKICHI YONEYAMA) ■

1920年世界855番目のRC(東京RC)を創立し、日本に初めてロータリーを導入した。東京RCの初代
会長に就任し、日本のロータリーの発展の基礎を築いてくれた偉大な人である。